

議事概要	
会議名	第1回 東洋大学との文京区学生と創るアグリイノベーション事業 実施協議
日時	令和3年5月7日（金）14時00分から15時30分まで
場所・方法	ウェブ会議システムを用いたオンライン開催
出席者（順不同）	生産者 菊地 潤様 東洋大学 経済学部 総合政策学科 澁澤教授 澁澤ゼミ 齊藤様，杉山様，長谷川様，佐藤様，三須様 人型ロボット Pepper 盛岡市 玉山総合事務所 産業振興課 農政商工係 佐々木農政商工係長，高原，勝又
議題項目	1 菊地様の就農状況等に対する学生からの質疑 (1) あいさつ (2) 菊地様本人に関すること (3) イチゴの栽培・販売に関すること 2 自由討論
第2回の討議事項	第1回実施協議を踏まえた，東洋大学学生の皆様から菊地様へ各種企画 提案等を予定。

テーマ	発言者（敬称略）	議事
1 菊地様の 就農状況に対 する学生から の質疑 (1) あいさつ	澁澤	本日はよろしくお願ひいたします。澁澤ゼミは情報発信を得意とするゼミです。菊地さんが栽培している，イチゴの品種「すずあかね」を，Google や Facebook 等の SNS で「東北イチゴ」等と検索したら，菊地さんの農園が出てくることを目標にしていきたいですね。 「すずあかね」については事前にお聞きしていただきましたので，実はキャラクターをデザインしてみました。今僕がつけているスマートフォンのカバーです。3Dプリンタで作成しました。このキャラクターをデザインしてくれたのは，3年の三須さんです。では質問に移りたいと思います。
(2) 菊地様本人に関する こと	齊藤	はじめまして。澁澤ゼミ，ゼミ長の齊藤です。本日はよろしくお願ひいたします。 まず初めに，菊地さん本人に関する質問から順番にさせて

斉藤		いただきます。農業に携わる前に他の分野のお仕事をされていたことはあるのでしょうか。
菊地		仕事は色々やっていました。高校は電機科のある工業高校に通っていて、専門学校は3Dデザインや服飾デザイン系のところに通っていました。卒業後はシステムエンジニアとして、レーザーマーカや産業廃棄物処理システムのプログラミング等に携わっていました。そういった仕事を8年やりました。それから、映像制作のディレクターとして撮影から編集までをやっていました。農業の仕事は4年くらいやっています。
斉藤		ありがとうございます。色々なお仕事をされていたということですが、その中で農業に携わる事になったきっかけをお聞かせいただけますか。
菊地		ディレクターとして地元の岩手県を取材する機会がありました。私も小さい頃、祖母の田んぼの手伝いをやっていて、農業は汚くてつらいという印象がありました。でも、取材の中で、元SEで養豚を始めた方に出会い、映像作品を作っていく過程でそういった農業のイメージが変わり、また元SEという同じ境遇の方に出会ったことがきっかけになりました。
Pepper		はじめまして、Pepperです。こんにちは、菊地さん。Facebookを見たら、勤務先がサラダファームになっていたよ。今もそこでお仕事しているの？
菊地		はじめまして Pepper くん。今は自分の農園一本でやっているよ。
Pepper		そうなんだね。
斉藤		続けて失礼いたします。若者の就農者が少ないことについて、自身が経験して感じたことは何かございますか？
菊地		これを市役所の方の前で言うのは恐縮ですが、資金の調達がやはり難しいですね。基本的に認定新規就農者に認定されないと市からは支援されません。また、認定のための書類作

	<p>菊地</p> <p>齊藤</p> <p>菊地</p>	<p>成に要する期間が短く、記載内容もハードルが高いため、途中で心が折れちゃうこともあるのかなと思います。</p> <p>また、地域によって異なりますが、土地をある程度もっていないと認定されない等の条件もあり、僕が始める時 50 アール以上の農地所有が必須条件でした。今は緩和されて 30 アールになっていると思います。ただし、地域によっては 10 アールの地域もありますし、土地を持っていなくても認定してもらえる地域もあります。各種支援の要件となっている、認定新規就農者になるためには、よほど高いモチベーションがないと難しいのかなと思いました。</p> <p>若者の就農者を増やすためにどのような取組が必要だと感じましたか？</p> <p>やっぱり、一人でもくもくとやってると寂しいなと感じることがあります。そういった時にお互いの情報共有をしたり相談をしたりする相手がいると気持ちが楽になるなと思います。実際そういうコミュニティはあるのですが、同じような年代の人はいないので、そういうコミュニケーションをとれるコミュニティができるのかなと思います。</p>
<p>(3) イチゴの栽培・販売に関すること</p>	<p>杉山</p> <p>菊地</p>	<p>はじめまして、澁澤ゼミの杉山です。岩手県はイチゴの生産で県上位ではありませんが、なぜあえて盛岡でイチゴを栽培しようと思われたのでしょうか。あと生産目標があれば教えてください。</p> <p>何を作ったら良いか？と考えたときに、僕自身がいちごが大好きで、好きなものであれば単に果物を栽培するよりも、より一層精力的に生産に取り組めると思ったので、イチゴに決めました。そのため、盛岡でのいちごの生産状況は特に考慮はしていません。</p> <p>また、独立するにあたって新しい品種に挑戦するのはリスクが高いと思ったので、前職の農業経営体にて栽培していた「すずあかね」を選択しました。加えて、すずあかねは生でもおいしく、自分の中で夏いちごのイメージを変えたのがすずあかねであったことも理由のひとつです。</p> <p>生産目標については、2.2 トン程度を考えています。</p>

	菊地	3,700 本植えているから予想でこれくらい。すべて収穫できたとして 2.2 トン。害虫等でダメになったロス分を引くことになるので、もう少し減ると思います。
長谷川		ほかに栽培しようと思っている品種等ありますか？
	菊地	<p>「赤い妖精」という品種を栽培しようと思っています。すずあかねよりも断面が赤く、加工すると赤の鮮やかさが綺麗に出る特徴があります。</p> <p>また、イチゴの収穫に波があって、赤い妖精はすずあかねの閑散期が栽培の最盛期になるため、年間の生産時期を平準化するために、すずあかねと組合わせて育てることは最適だと考えています。すでに青森では赤い妖精とすずあかねを組合わせて育てている農家もいらっしゃいます。</p>
長谷川		もともとエンジニアとのお話でしたが、スマート農業には興味があるのでしょうか。
	菊地	<p>スマート農業には興味はあります。映像制作の仕事をしている時にそういうものに触れ、宮城の農家が実際にやっている事例も知っているので、自分の武器として取り入れていきたいとは思っています。</p> <p>ただ、まずは「おいしいいちごを届ける」というのを固めてからと思っています。</p> <p>また、今まで何度か転職してきましたが、家族との時間がとりづらかったので、ワークライフバランスを大事にしたい思いがあります。もともと生活のために仕事をするという考えなので、自分の生活を犠牲にしてまで生産に注力したいとは考えていません。生活と仕事のバランスを考慮しながら、利益を考えていきたいと思っています。</p>
佐藤		出荷についてどのように考えておられますか？また、オンライン販売についてどのように考えておられますか？
	菊地	初年度は市場への全量出荷を考えています。いちご農園をやると話をしていたら、産直や洋菓子店等からも声がかかったので、ゆくゆくはそのようなところにも卸していきたいと

	<p>菊地</p> <p>三須</p> <p>菊地</p> <p>斉藤</p> <p>菊地</p> <p>Pepper</p> <p>斉藤</p> <p>菊地</p>	<p>思っています。</p> <p>また、現時点ではオンライン販売についてはあまり考えていません。将来的には検討しています、現状生産から出荷までひとりで作業し、人手が不足であることや、オンライン販売サイトの管理運営等の知見がなく、あらゆる点でリスクが高いと感じています。</p> <p>ただ、SNSは情報発信に効果的だというお話を聞いて、Facebook と Instagram をやっています。</p> <p>生食でも販売する予定という認識であっていますか。生食と加工の比率等考えていればお聞きしたいです。</p> <p>はい。市場や直売所で生食用としても販売したい思っています。また、比率はだいたい半々を想定しています。</p> <p>販路として直接販売を考えているとのことでしたが、販売方法はどのようなものを考えていますか。</p> <p>出荷室兼事務所があるのでそこで売りたいと思っている。いちごは毎日販売できるわけではないので、道路に面している利点を活かして、販売時には旗をあげる等してお知らせしたいと思っています。</p> <p>いちごは無農薬？</p> <p>無農薬を使った高級志向より、お求めやすいいちごを目指しているのでしょうか？</p> <p>生産者それぞれに想いがあることを前提に、私は単に無農薬であることが食の安心・安全に寄与するとは思ってはいません。用法用量を守って農薬を使用し、害虫等からイチゴを守ることも食の安心・安全に繋がると思っています。</p>
<p>2 自由討論</p>	<p>澁澤</p>	<p>今インターネットですずあかねを検索しても、なかなか出てこないですね。</p> <p>また、オンラインでの展開が難しいとなると、東京で買いたい人がいても買えない状況ですね。いちご狩り等はコロナでできないし、地方に行くことが憚られるこの状況下で、自宅でも楽しむことができるジャム等の加工品は結構売れて</p>

	<p>澁澤</p>	<p>います。</p> <p>オンラインでの販売は簡単に始めることができます。少しでも売れて口コミを書いてくれれば、宣伝効果は抜群で、知名度が上がります。</p> <p>私の持っているドローンでいちご4パックくらいは持ち上げられるので、ドローンを飛ばせることができれば、地元の方にイチゴを届ける動画を取ることができます。それをYouTubeに載せたら面白いと思います。</p> <p>将来的にドローンが配送できるようになれば、車で配達する手間が必要がなくなり、また、移動が難しい高齢者の方も簡単に購入することができるようになります。</p> <p>また、東洋大学の方でレシピコンクールをやろうと思っています。今はコロナ禍で学生の課外活動等が規制されているので、開催すれば多くの生徒が参加するはずです。</p> <p>さらに優勝者には、例えば地元のレストランで商品として期間限定で出してもらえる等、得点を与えることができれば、多くの学生が喜んで参加すると思います。そのコンテストで、新しい食べ方や調理方法、ジャム以外の加工品がでてきたらおもしろいですね。このような話題性のあるものを作ることで知名度が上がります。あとは、Tシャツやスマホカバー等のグッズ化した商品をネットで売る等も考えられますね。話は変わりますが、コロナの影響はありますか？</p>
	<p>菊地</p>	<p>やはり気を遣うことは増えています。県外の人と会ってはいけないという風潮で、資材等のやり取りもしにくい状況です。また、イベントがなくなってしまって出荷の波もあります。</p>
	<p>澁澤</p>	<p>そうですね。東京にある物産館も閉まっています。コロナはまだどうなるかわかりません。解決するのが難しいことや、新たな問題が出てくるかもしれない。そのため、この状況ではオンライン販売はとても大事だと思います。</p> <p>また、海外に販売できたら話題性としては良いですね。ニューヨークに伝手があるので、1個だけジャムも販売してもらえれば、ニューヨークの店に買ってもらって、それを使</p>

	澁澤	<p>った商品を作ってもらえると思うので、それだけで宣伝になると思います。海外で注目されたとなれば、クチコミが逆輸入し、国内での販路拡大に繋がります。</p>
	菊地	<p>ちなみに、ジャム等の加工品は考えていますか？</p> <p>やりたいですね。玉山にはジェラート屋さんがあり、パシエとしてやっていきたいと希望する方もいらっしゃるので、加工品を製造するチャンスだと思っています。</p> <p>もともと私はすりつぶされすぎたいちごジャムよりも少し果肉の残ったゴロゴロしているのが好きなんです。だからそういうジャムを作れたらなと思っています。ただ、加工のノウハウがないので、加工については専門の人にお任せし、自分は生産の方に注力し、玉山で六次産業化まで完結できると面白いなとかいろいろ考えています。</p>
	澁澤 菊地	<p>7月の収穫に時期にいちご狩りはする予定ですか？</p> <p>今のところやる予定はありません。ひとりで作業しているため、人員が不足していることや現時点では時間的・金銭的成本と見合わないことが理由です。</p>
	澁澤	<p>イチゴ狩りが宣伝としてはプラスとなるものはやる意味があるのかなと思います。</p> <p>もし、ニューヨークで販売することができて、「国境を越えたすずあかね」なんてキャッチコピーがいたらおもしろいじゃないですか。</p>
	菊地	<p>やはり知名度がないこと、コストがかかることを知らないことから安く見られがちだなと感じています。情報発信は大事ですよ。</p>
	澁澤	<p>情報発信は大事です。あと、食べられるいちごシャンプーとかあったらおもしろいですよね。それは少し現実味がないとしても、レシピコンクールを通じて商品化することや、盛岡へ行って農園を見て、菊地さんのイチゴをドローンで配達する等はできます。ドローンで高齢者の方にいちごを届ける</p>

	澁澤	<p>なんて地元を大切にしたいという想いにピッタリだと思います。多くの生産者がいる中で面白味や流行をとらえて差別化することが必要ではないでしょうか。</p> <p>コロナがなければ盛岡に行きたいと思っていますがなかなか厳しいのでまずはオンラインでもできることからやっていたらと思います。7月頃にもし行けるようでしたら、Pepper も連れてイチゴの収穫を手伝わせていただきたいな、なんて思っています。</p>
	菊地	<p>コロナでなければ私の方からも伺いしたいですし来ていただきたいです。収穫の件、来ていただけるのであればうれしいです。Peper さんも来てください。</p>
	澁澤	<p>本日は長い間ありがとうございました。たくさん勉強になりました。これからもよろしくお願いします。</p>
	菊地	<p>こちらこそありがとうございました。</p>